

西高校生レポート

西高農場は、地域とともに先端技術の研究・研修、憩い、自然とのふれあいの「場」として開放しています。

「わくわく農場体験」

能代西高校の生徒が代表を務める『NPO法人アグリファームのしろ』が、11月16日に同校で「わくわく農場体験」を開催しました。アグリファームのしろは、地域住民との交流や地域貢献活動を柔軟に展開することを目的に設立され、「わくわく農場体験」は昨年引き続き2回目の開催となります。

当日は、能代西高農場でねぎの収穫体験や生徒が手掛ける作物の栽培方法、学校行事の紹介などが説明されました。その後、「西高産」のあきたこまちやねぎ、比内地鶏などを使用した、だまこ鍋作りなども行われ地域住民約30名が同校独自のイベントを楽しみました。



←生徒が中心となり地域住民へ作業の説明を行いました



←大人から子供まで能代西高農場の収穫作業を楽しみました。



←生徒の指導のもと子どもたちも調整作業に挑戦。



←収穫したねぎは参加者へプレゼントされました。



←生徒がダシを作り、能代西高のこだわり米で、だまこ鍋を作りました。



←農作業の後のだまこ鍋は格別でした。

「インターンシップ」

生物資源系列2年生の生徒が、農業技術センターやねぎっこ村、管内の農家で3日間に渡りインターンシップを行いました。このインターンシップは、将来の担い手として農業という業界を知ってもらうこと、日頃食べている食



←農業技術センターの圃場ではアスパラガスの除草体験をしました。

↑ねぎっこ村では調整作業の体験をさせていただきました。



↑大高新誠さんの圃場でねぎの収穫体験をしました。

料とその生産について関心を持ってもらうことを目的としています。参加した生徒からは「将来秋田で農業に従事したいと思っています。今回のインターンシップでその思いがさらに強くなりました。今後は授業や実践を通じて理解をさらに深めていきたいです。」といった感想が聞かれ将来秋田の農業を背負っていくという強い意志を感じました。

